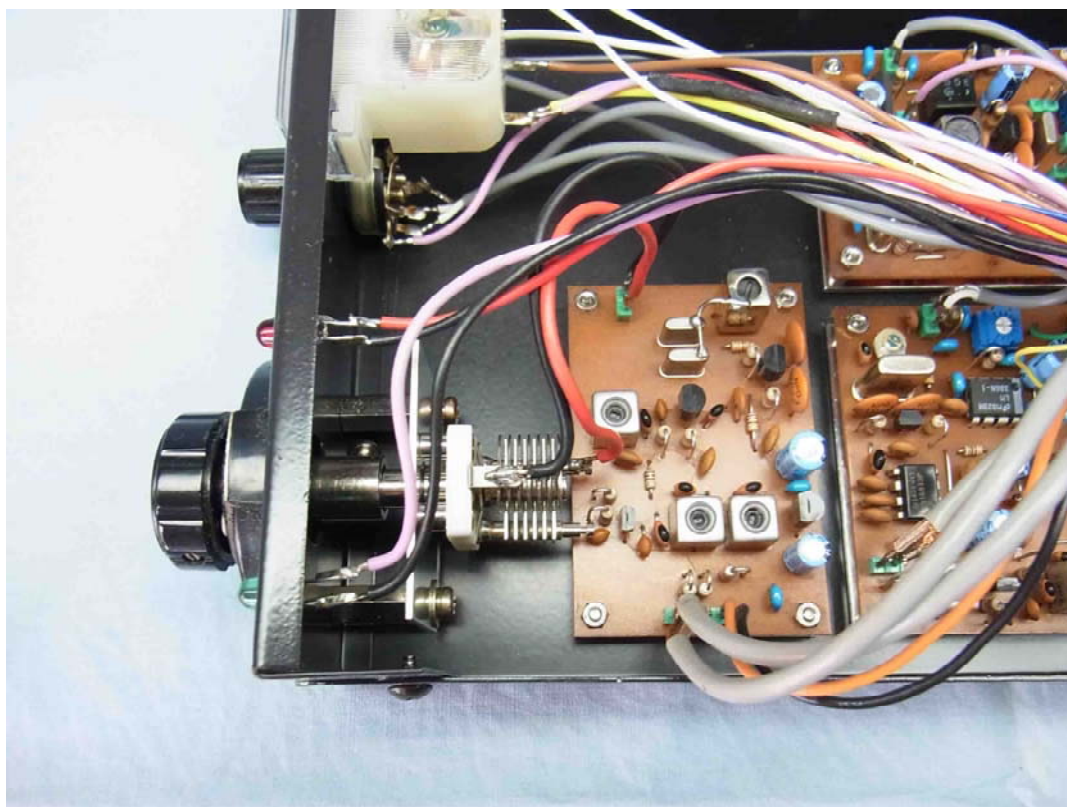


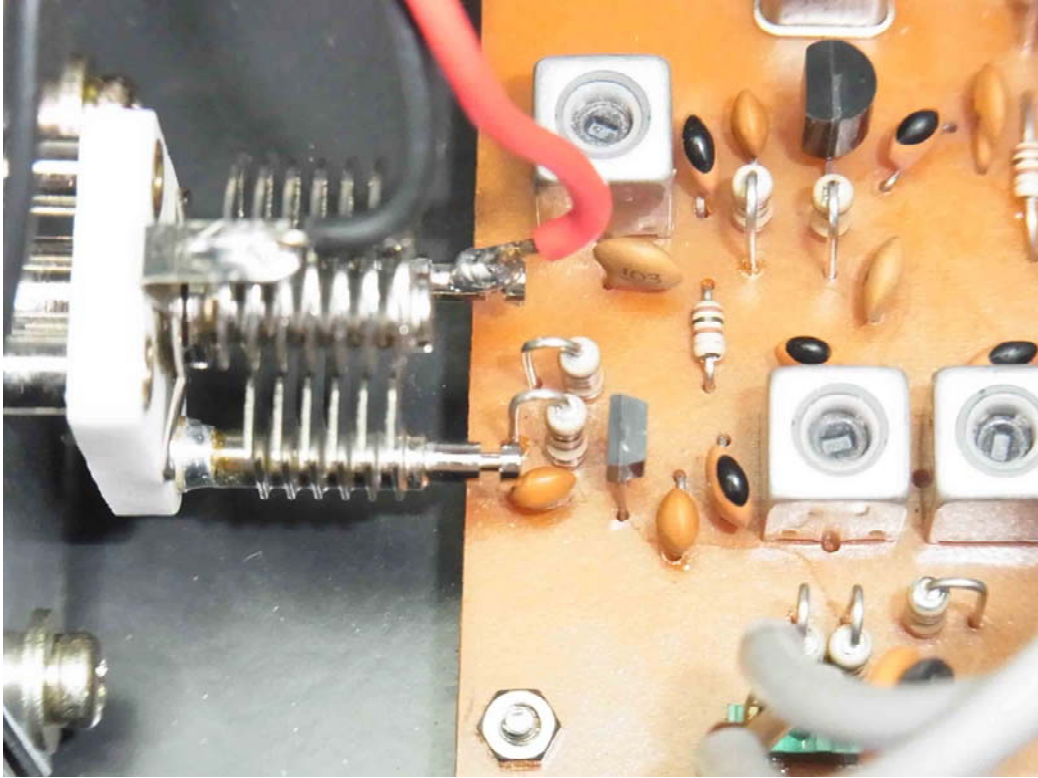
アイテック電子研究所 TRX-501  
SR-70./SR-30用エアバリコン交換セットの取り付け。

- 交換前の周波数可変データ 50.531MHz~50.666MHz
- エアバリコン交換後データ 50.569MHz~70.703MHz  
(VXO用コイルではほとんど変化をえられなかった。)
- 水晶のケースをアースに落したデータ 50.523MHz~50.688MHz  
(今回の場合のみ有効な方法なのか不明です)
  
- 取り付けに関してはVXO基板が、パネル面より38mm、側面より6mmの位置でした。  
写真2の用に抵抗には当たりませんが、コンデンサの取り付け方により、バリコンの端子と接触をする場合があるかも判りません。
- その他交換に関する作業は、説明書に記載されている方法、及びエアバリコン交換セットの説明書を参照してください。
- 本来SR-70/SR-30用にセットされていますので、補正コンデンサ等が余りますが、TRX-501では使用しません。
- 交換後はデータの通り周波数可変範囲は若干広がり、安定しています。
- この交換は友人よりTRX-501をお借りし行いました。アイテック電子研究所の公式な物ではありません。 Tnx JF2UJG

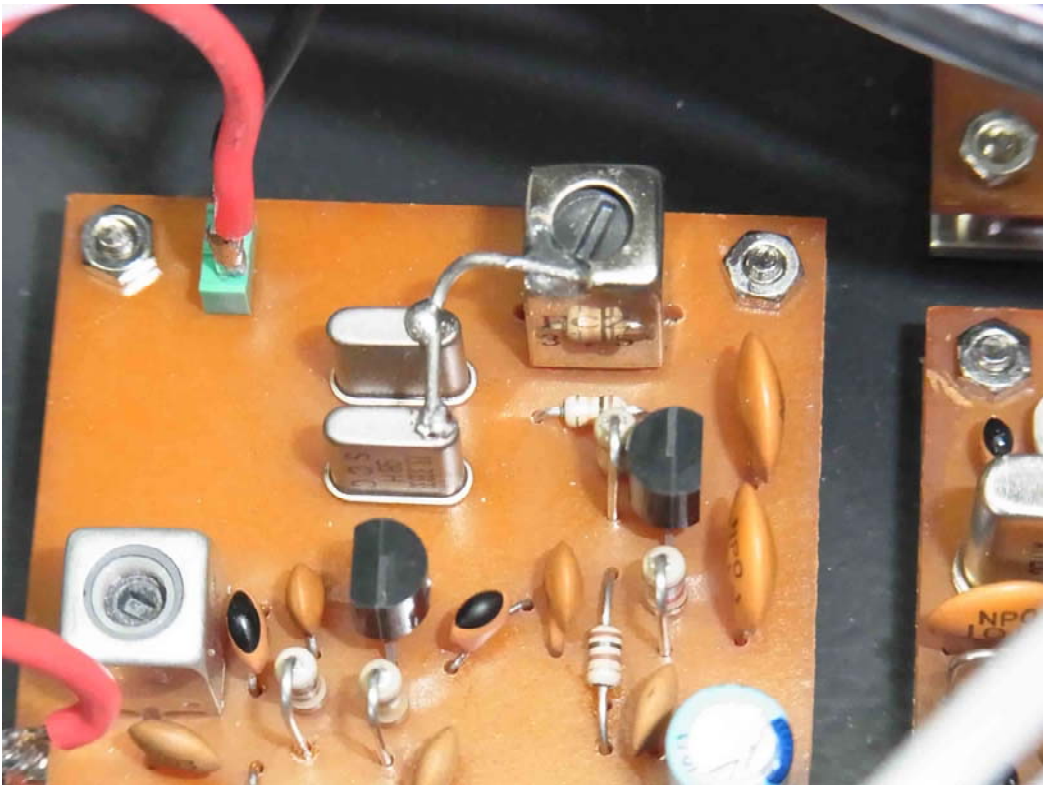


(写真1) エアバリコン交換後

て



(写真2) エアバリコンと部品の位置



(写真3) 水晶をコイルケースにアースを落とす。

By JR3GOX